

Rotary



八尾ロータリークラブ会報

2017
vol.56
No.35

3/29



人類に
奉仕する
ロータリー

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか



八尾RCバナーの主旨
「我々のクラブは、若いも若きも
相手を敬愛し、和気あいあい、
楽しいクラブライフを送っている
ことが誇りであります」

国際ロータリー テーマ

**人類に奉仕する
ロータリー**

国際ロータリー 会長 ジョン・ジャーム

八尾ロータリークラブ テーマ

**奉仕への情熱と創意を
積み重ね、品格を高めよう**

会長 山本 昌市

国際ロータリー 第2660地区 テーマ

**The Ideal of Service
ロータリーの根幹精神**

国際ロータリー 第2660地区 ガバナー 松本 進也

第2717回 例会 プログラム

- ▼開会「点鐘」
- ▼ロータリーソング「我等の生業」
- ▼ゲストの紹介
米山奨学生 三宅 建 様
- ▼出席報告
- ▼その他の報告
- ▼会務報告
「会長の時間」「幹事の時間」
- ▼SAA報告 ニコニコ箱
- ▼卓話「ロータリー雑感」
居相 英機 元会長
- ▼閉会「点鐘」

▼卓話予告

4/8(土) IMロータリーデー

4/12 「私を語る」

幡田賀紀・相馬康人 会員

4/19 「健康を語る」

川田 隆・西村 衛 会員

4/26 松本 新太郎 元会長

会長の時間

八尾ロータリークラブ創立記念日

来週3月28日は、八尾RC創立56周年で御座います。

昭和36年【1961】3月28日八尾RCが創立しました。大阪RCスポンサーにより初代会長田中誠三郎様のもと、21名で発足しました。特別代表は、浅田氏(大阪スタジアム社長)、塚本パストガバナー、露口氏(大丸印刷社長)が献身的な力を注がれて出来上がったそうです。

創立されるまでには予想以上の並々ならぬ苦労が積み重ねられ、ホストクラブ、地区、各界からの積極的な友情こもる支援なしでは、果たし得

ない大事業でした。八尾市立労働会館にチャーターメンバーを集めて、晴れの創立総会を開き得た喜びは想像に絶するものがあり、その時点で誓われた初志を貫く熱情に揺るぎないことが、ここまで成長したと言われております。特にクラブ創設の産婆役として東奔西走された平野大太郎・杉本万五郎さんのお二人だそうです。

同じ年の6月25日に近くの8クラブと一緒に、大阪の新歌舞伎座で合同のチャーター・ナイトが行われました。会員は2~3の委員を兼任し、財政上の理由から、ニコニコ箱に例会ごとに200円をしていたそうです。

創立後一年間は、特別代表の3人の方々が、交代で例会へ出席され、ロータリーの心と共に色々の知識を、

与えて頂いた事は、実に有り難いことであり、ご多忙にもかかわらず、誠心誠意、新クラブの為に奉仕される姿に、八尾RCの全メンバーは驚き感謝申しあげました。そして「人の為につくして代償を求めない」と言うロータリーの姿を無言のうちに教えられたのであります。

2年目に、杉本万五郎会長の時に、会員の誕生日に会員夫人を招待し、多数の出席があり盛会で、そこから家族会に力を入れる事になりました。京都の仁和寺の精進料理、白浜温泉一泊二日の家族会など、活発になっていき、会員数も30名になりました。

5年目には、平野大太郎会長の時に、40名になりました。拡張はクラブ発展の原動力ですが、その方向と本質を誤ると、クラブの危機を招く。慎重にしかも活発に拡張の努力をすべきだと、苦言を述べられておられました。わが八尾クラブでも一日も早く、マザークラブになりたいと、常に隣接地の状況を見守ってきたが、まだその機が塾さないのは残念だと、当時おっしゃっておられました。

この方々の偉大な奉仕の実績が、今もなお生き続けて、八尾RCから大阪柏原RC・八尾東RC・八尾中央RCと拡大する源となっている事を、しみじみ感じます。そしてこの様な献身があればこそ、ロータリーの健全な進展があるのだという事を、再認識すべきであり、今、改めて創立時の喜びとご苦勞を想い浮かべ、今後の発展への指針にすべきだと思います。

その当時、毎年八尾RCの創立記念日には、その年の会長が大阪RC

へ連絡して卓話をお願いしていたそうです。創立10周年のころに、こんなにも立派に成長したのだから、もう我々の話も必要ないと言う事で、なくなったそうです。先輩からロータリーを学ぼうとした心意気が、八尾RCの真面目な正統派的なカラーを、生み出したのだと思われます。

又この時期に年輩会員と若い会員との対話やわけへだてのない親しさが生まれ、いろんな地業に参加しようとの積極的な意欲も湧いてきたようです。創立から長い間、新入会員を連れて紹介者は親クラブへメーキャップをする習慣になっていました。

戸田パストガバナー語録の中で、大阪RCをメーキャップで初めて訪れた時の思いを、次の様に語られています。

「私にとってこれは、…とんでもない所へ入ったものだ…と、しかし時をたつに従って、各界の指導者が集まって和やかな会合をもって楽しく話合っていることや、若い人々にも等しくホスピタリティを自然にあらわされること、厳しい経営の現実を乗り越えて、この様な人間的な繋がりを、持つておられる事などを見つけるにつけて、いつかこんな人達の中へとけ込んで、話し合えるような幅広い人間になりたいものだ、と思うようになりました。ロータリーはこんな素朴な思いから入ってゆくものだとやっと昨今気が付きました。」…その思いから20年後、ガバナーになられました。

幹事報告

▼本日PM6:30から高砂で、新入会員の歓迎会を開催します。ご

参加よろしくお祈りします。

▼春のRYLAのご案内チラシをお配りしております。出欠を回覧しますので、ご出席をお願いします。

その他の報告

▼クラブ研修委員会・

宇野 泰正 委員長

本日例会後、ロータリーカフェを開催します。ぜひご参加ください。

卓話

「笑い与健康」

▼矢野 宗宏 様



ユーモアコンサルタントとして、笑いの大切さを伝える仕事をしております。

21世紀に入り、笑いが心と体の健康によいという医学的な研究がどんどん進んでまいりました。今回、皆様に私を紹介して下さった濱岡様の妹さんの、大病の奇跡ともいえる全快に笑いの効果が大きかったということもお伺いしておりますし、私自身も現在の大阪シティ信用金庫の前身である八光信用金庫に勤務しながら、お笑い研究会という金庫内のクラブ活動でお客様や地域の皆様に笑いを発信することで、心身ともに明るく健康になれたとの実感がございます。

またこの活動が、現在の職業でもあるユーモアコンサルタント転身へのきっかけとベースになっていることも自覚しております。

私は関西大学の落研、落語大学で

十四代目の部長として活躍しました。落語大学は名門クラブで、大先輩には上方落語協会会長の6代桂文枝師匠がいらっやいます。

文枝師匠は若いころ、つまりプロになって熱狂的な人気を博していた三枝時代の初期のころ、世間で生意氣だ、偉そうだとの声がありましたが、決してそうではありません。

弟子入りした当時は大学出身の落語家がまだまだ珍しい時代でしたので、すぐにヤングタウンやヤングオーオーで全国的な人気を得たことに対する先輩落語家たちのやっかみや嫉妬によるものもあつたでしょうし、師匠は元来物静かな方なので、高座やテレビでの落語家やタレントとしての面白い姿と普段の態度とのギャップから、生意氣に見えたこともあつたのでしょう。しかし実際は、本当に後輩思いの優しい先輩です。

私たちが一般のお客様向けの有料公演を学外で行うときは、分刻みのスケジュールの中をどんなに忙しくても必ず舞台に立って挨拶をしてくださいましたし、私たちが3回生になってクラブの役員になるときは、全員を当時のなんば花月の前にあつた寿司屋に呼んでご馳走してくれました。

こんな三枝師匠でしたが、私は弟子入りできませんでした。断られたのではなく、自分の内気で引っ込み思案な性格では、プロでは務まらないと諦めたのです。

そして縁あつて八光信用金庫に入庫したのですが、この気弱さゆえに目標が未達のときやお客様とトラブルがあつたときなどの精神的落ち込

みがひどく、うつ状態が続く毎日でした。

しかしこんな私を、笑いが救ってくれたのです。土曜、日曜のお笑い活動によりカタルシス効果(心の浄化作用)が生まれ、仕事のことをクヨクヨ考えていた自分が、すっきりした気持ちで全力投球できるようになりました。

また人を笑わせるという行動が積極性にもつながり、明るく元気で大きな声が出せるようになりました。しんどい、辛いなど思いながらお客様を訪問したのでは、歩き方もだらしく挨拶の声にも元気がありません。「よし、やるぞ!」という積極性が出れば、歩き方もキビキビして挨拶の声も大きく元気になります。こうして成績もイヤだイヤだと思つて働いていたときは別人のように良くなりました。

笑うことは、素晴らしいことです。笑いと健康を考える上での貴重な資料として、大阪府が平成18年に「笑いと健康」という啓発冊子を発行していますが、それによりますと人間の体の中に50億個以上あるNK細胞が、大笑いすることで活性化し、免疫力を高めたり、ガン細胞をやっつけることが報告されておりますし、また吉野模一・日本医科大学名誉教授の研究で、大笑いすることで関節リウマチの痛みが軽減されるとの実験結果も掲載されています。

私がお勧めしたい健康法は、この大笑いすることと、嫌なことはすぐに忘れてしまおう、ということです。

実例をお話ししますと、私の母は現在、91歳です。体は元気ですが、認知症が進み物忘れがととほひどいの

です。そんな母が80歳のときに、ベッドから落ちて足を骨折しました。

手術は大成功したのですが、担当の医師から「お母さんにはこれから、リハビリをしていただかなければならないのですが、認知症なので医師の言うことを理解していただかず、そのまま車椅子生活になるかもわかりません」と言われ、私はショックを受けましたが、母は手術をしたことを忘れてしまつていたため、いつも通りに歩こうとして、それがリハビリとなり、結果的に現在も元気に歩いております。

このように、忘れるということは、悪いことばかりではないのです。どうにもならないことをクヨクヨと考え続ける方が、よっぽど体に悪いのです。

皆様は素晴らしい方々です。皆様が健康を害し倒れてしまったら、従業員やご家族、お取引先、そして社会に大きな損害を与えることとなります。どうか日々大いに笑い、常に気持ちをリフレッシュさせ、充実した人生を送っていただきたいと思つています。

ニコニコ箱

▼山本(昌)会長 八尾RC56周年に当り、大先輩方々に改めて敬意をささげたいと思つています。

▼山陰幹事 矢野様ようこそお越し下さいました。卓話楽しみにしております。

▼佐々木名誉会員 バッジ忘れ。例会欠席お詫び。

▼佐野会員 福田さん有難うございました。お陰様で明日ゴルフに行けます。

▼居相会員 中島常幸チャリティ

今後の予定

月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
					1	2	1	2	3	4	5	6	7
										春のRYLA			
3	4	5 母子の健康月間 (例会日変更) →8(土)へ	6	7	8 理事会 ・例会 IM第4組 ロータリーデー	9	8	9	10 理事会	11	12	13	14
10	11	12	13	14	15 地区研修・ 協議会	16	15	16	17	18	19	20	21
17	18	19	20	21	22	23	22	23	24	25	26	27	28
24	25	26	27	28	29	30	29	30	31				

青少年奉仕月間 **5**月

ーコンペの写真有難う。

▼寺坂会員 明日の中川さんの喜寿祝いゴルフは5カ月ぶりのゴルフになります。どうなる事か？

▼中川(廣)会員 良い事がありますように。

▼山本(勝)会員 特にないですが……。

▼菅野会員 明日のゴルフ晴れます様に。

▼今西会員 本日の歓迎会欠席お詫び。山本勝彦会員お世話になりました。

▼笠井会員 とっても良い事があります様に。山本会長、台湾ではフカヒレご馳走様でした。例会欠席お詫び。

▼濱岡会員 矢野様、本日卓話

よろしくをお願いします。

▼柏木会員 私、本日53歳の誕生日を迎えました。入会以来例会とどんぴしゃは初めてです。いい事がありますように！

▼津田会員 相馬様有難うございました。例会欠席お詫び。

▼長竹会員 お彼岸です。お墓参りはお済みですか？

▼吉田会員 吉本様、IMのパワーポイント大変ありがとうございました。早退お詫び。

▼野村会員 例会欠席お詫び。

▼児林会員 明日のコンペよろしくをお願いします。

▼小谷会員 明日のコンペよろしくをお願いします。山本会長、居相会員、中西会員より多額の賞金・賞品を頂いております。

▼幡田会員 親睦歓迎会ありがとうございます。これからも宜しくお願い致します。

▼相馬会員 歓迎会ありがとうございます。

▼山本(隆)会員 本日は、歓迎会ありがとうございます。



■ 出席報告

月日	会員数	出席	(内出席規定適用免除者)	出席率	メイクアップ	確定出席率
3/8	58	42	5	80.77%	2	83.33%
3/15	58	39	8	72.22%		
3/22	58	39	8	72.22%		